

2022年5月15日 聖日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は9時より。11時からは録画を視聴できます。

後	祝	献	会衆賛美	説	聖書朗読	使徒信条	礼拝祈禱	交	主の祈り	会衆賛美	会衆賛美	「恐れるな。わたしがあなたを贖ったからだ。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたは、わたしのもの。」アーメン	招	前	5月15日
奏	栄	金	聖歌638(1,3,4節)	教	出エジプト記	3章1〜12節	荻野泰弘牧師	詩篇105篇1〜11節	イザヤ書43章1節	詞	奏	聖日礼拝			
感謝祈禱	聖歌376														
報告	取手シオン会堂建築アピール														

■聖歌26「つくられしものよ」

- ①造られしものよ 声あげて歌え ハレルヤ ハレルヤ
造りぬしにして その支配者なる
主なる神を ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
- ②風よ主を歌え 雲よ主をほめよ ハレルヤ ハレルヤ
朝日いざ歌え ゆうづき いざほめよ
主なる神を ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
- ③きよらの流れよ 主のために歌え ハレルヤ ハレルヤ
人をば温め 照らす日よ歌え
主なる神を ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

■イエスの血潮で (★→※→★の順序で歌う)

- ★イエスの血潮で 救われ 癒(いや)され 天の御国へと 導かれる
イエスの血潮で 赦され 満たされ 尊い その血潮で
※天の父と こひつじイエス ひざまずき歌う 聖なる御名
全地は歌う あがないの歌 栄光は主にあれ

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用の糧を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを ころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇 105 篇 1～11 節

- 1 主に感謝し 御名を呼び求めよ。
そのみわざを諸国の民の間に知らせよ。
- 2 主に歌え。主にほめ歌を歌え。
そのすべての奇しいみわざを語れ。
- 3 主の聖なる御名を誇りとせよ。
主を慕い求める者たちの心よ 喜べ。
- 4 主とその御力を尋ね求めよ。絶えず御顔を慕い求めよ。
- 5 主が行われた奇しいみわざを思い起こせ。
その奇跡と御口のさばきを。
- 6 主のしもべ アブラハムの裔（すえ）よ。
主に選ばれた者 ヤコブの子らよ。
- 7 この方こそ 私たちの神 主。そのさばきは全地にわたる。
- 8 主はご自分の契約を とこしえに覚えておられる。
命じられたみことばを 千代（せんだい）までも。
- 9 それはアブラハムと結んだ契約 イサクへの誓い。
- 10 主はそれを ヤコブへの定めとして立てられた。
イスラエルへの 永遠の契約として。
- 11 そのとき主は言われた。
「わたしはあなたにカナンの地を与える。
あなたがたへのゆずりの地として。」

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる共同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 出エジプト記 3章 1～12節

- 1 モーセは、ミディアンミディヤンの祭司、しゅうとイテロの羊を飼っていた。彼はその群れを荒野の奥まで導いて、神の山ホレブにやって来た。
- 2 すると主の使いが、柴の茂みのただ中の、燃える炎の中で彼に現れた。彼が見ると、なんと、燃えているのに柴は燃え尽きていなかった。
- 3 モーセは思った。「近寄って、この大なる光景を見よう。なぜ柴が燃え尽きないのだろう。」
- 4 主は、彼が横切って見に来るのをご覧になった。神は柴の茂みの中から彼に「モーセ、モーセ」と呼びかけられた。彼は「はい、ここにおります」と答えた。
- 5 神は仰せられた。「ここに近づいてはならない。あなたの履き物を脱げ。あなたの立っている場所は聖なる地である。」
- 6 さらに仰せられた。「わたしはあなたの父祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である。」モーセは顔を隠した。神を仰ぎ見るのを恐れたからである。
- 7 主は言われた。「わたしは、エジプトにいるわたしの民の苦しみを確かに見、追い立てる者たちの前で彼らの叫びを聞いた。わたしは彼らの痛みを確かに知っている。
- 8 わたしが下って来たのは、エジプトの手から彼らを救い出し、その地から、広く良い地、乳と蜜の流れる地に、カナン人、ヒッタイト人、アモリ人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人のいる場所に、彼らを導き上げるためである。
- 9 今、見よ、イスラエルの子らの叫びはわたしに届いた。わたしはまた、エジプト人が彼らを虐げている有様を見た。
- 10 今、行け。わたしは、あなたをファラオのもとに遣わす。わたしの民、イスラエルの子らをエジプトから導き出せ。」
- 11 モーセは神に言った。「私は、いったい何者なのでしょう。ファラオのもとに行き、イスラエルの子らをエジプトから導き出さなければならぬとは。」
- 12 神は仰せられた。「わたしが、あなたとともにいる。これが、あなたのためのしるしである。このわたしがあなたを遣わすのだ。あなたがこの民をエジプトから導き出すとき、あなたがたは、この山で神に仕えなければならない。」

■聖歌638「けがれしこの世の」(1, 3, 4節)

①けがれし この世の さざめきより 離れて静かに憩う我れ
再び恐れを持つことなし こはベウラの地なれば

※家は雲なき大空のもと 水は渴かぬ命の真清水(ましみず)
糧は豊かに あまくだるマナ ああベウラ わが地よ

③嵐は なにほど吹くともよし 御神は愛の手 伸べたまい
光の大路(おおじ)に導きたもう こは住むべき地なれや

④恵みの数々思い返し 御声を静かに伺えば
御旨(みむね)を知り得ぬことはあらじ 長く住まわんベウラに

■頌栄 聖歌376「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈禱 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心を一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・賛美 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上に とこしえにありますように アーメン」